

第37回 ステロイド塗り薬

ステロイドの塗り薬は幅広い皮膚疾患に適応を持っているため、塗り薬としてはよく出るタイプの塗り薬です。しかし、当院に採用されているステロイド含有の塗り薬だけで8種類あり、市場にはもっと多くの種類の塗り薬が出ています。これだけ多くの種類のステロイド塗り薬が必要なのは、ステロイドには強さがあり、ぬる場所や年齢、症状に合わせて使い分けを行うためです。ステロイド塗り薬の強さは、I群（Strongest：最強）からV群（Weak：弱い）まで5段階に分けられています（当院ではI群からIV群までの塗り薬が採用になっています。）

また、ステロイド塗り薬の中には、ステロイドと共に抗菌薬と一緒に配合している物もあり、ステロイドが免疫を抑える作用もあることから、感染を起こしているような湿疹などには使えないのですが、抗菌薬を配合することによって感染がある湿疹にも使えるようになっていきます。

それでは、当院に採用されているステロイド塗り薬について、強さ別にみていきましょう。

I群（Strongest）

デルモベート：Derma「皮膚」を参考に命名

II群（Very strong）

アンテベート：Antiinflammatory Effect Betamethasone Butyrate Propionate

「抗炎症効果のあるベタメタゾンのエステル化合物」の下線部から

リンデロンDP：Nebennierenrinde（ドイツ語で副腎皮質）+RON（語尾調整）からリンデロンを、及びベタメタゾン骨格の2か所にプロピオン酸のエステル結合を有するため2個(di)のPropionic acidからDPの名が由来。

マイザー：ドイツ語のMine Salbe（私の軟膏）より

強力レスタミンコーチゾンコーワ：ジフェンヒドラミン塩酸塩を含み、resistant to histamine「ヒスタミンに抵抗する薬剤」の意味から「レスタミン」とヒドロコルチゾンを含み、副腎皮質ホルモンを含み、含有する薬剤の意味を持つ「コーチゾン」から命名。

強力レスタミンコーチゾンコーワはステロイドと抗ヒスタミンと抗菌剤（名前からはわかりませんが、フラジオマイシン）を含有しています。

III群（Strong）

リンデロン VG：ベタメタゾンの吉草酸エステル（Valerate）ゲンタマイシン（Gentamicin）との配合からVGを命名

VGは抗菌剤が配合されたステロイド塗り薬です。

IV群（Mild）

リドメックス：特になし

ロコイド：Local corticoid

今回は、塗り薬の種類についてです。